

知 恩

第33号

特集：千葉県匝瑳市研修旅行

本会は、2023(令和5)年10月6日、今年度の事業計画に基づき千葉県匝瑳市への研修旅行を実施しました。

本号では、大森信明会長からの実施報告を特集します。



水戸藩士の墓(脱走塚)集合写真



匝瑳市の皆様との交流会



西光寺住職による読経



水戸浪士の墓(斬られ様)
円長寺住職による読経

I. 水戸殉難者恩光碑保存会 匝瑳市研修旅行

1. はじめに

2023年10月6日（金）に実施した千葉県匝瑳市への研修旅行について、会長大森より報告します。

当日は秋晴れに恵まれ、水戸市秋葉副市長、幕末維新水戸有志を偲ぶ会・栗原会長、県近現代史研究会・市村会長にも参加いただき、諸生・天狗争乱終焉の地、千葉県匝瑳市を5年ぶりに訪問しました。

匝瑳市での行事を行うにあたっては、元匝瑳市立八日市場図書館の館長で、匝瑳市文化財審議委員・水戸藩士の史跡を顕彰する会会長の依知川雅一様、龍性院役員の大木仁様ほかの全面的な協力により、充実した内容にすることができました。心より感謝いたします。

2. 匝瑳市の史跡について：諸生党関連の史跡を紹介します。



水戸藩士の墓（脱走塚、左）：松山戦争の諸生党・戦没者25名が埋葬された場所で、匝瑳市の指定文化財。3つの慰霊碑がある。右：戦死二十五人墓（明治2年建立）、中央：水戸藩志士吊魂碑（大正15年建立）、左：百年祭記念碑（昭和41年建立）。

水戸浪士の墓（右）：またの名を「斬られ様」と言う。松山戦争を落ち延びた藩士が十数名斬られた場所。林千之様ほかにより平成21年建立。

3. 匝瑳市での慰霊の経緯

2023年 匝瑳市年表(慰霊の経緯)

年	月 日	出来事(匝瑳市)
1868(明治元年)	10月6日	松山戦争(天狗・諸生の闘争終わる)
1869(明治2年)	5月	脱走塚に、地元の人たちにより「戦死25人墓」建立
1888(明治21年)	5月26日	「戦死25人墓」21回忌墓前法要(地元主催)
1926年(大正15年)	11月10日	「水戸藩志士吊魂碑」開眼式、地元有志+朝比奈知泉、藩士子孫
1960年(昭和35年)	3月30日	脱走塚が八日市場市指定文化財となる
1966年(昭和41年)	10月14日	脱走塚百年祭(百年祭執行協賛会)、百年祭記念碑建立
1979年(昭和54年)	8月	和田水戸市長、脱走塚参拝
1999年(平成11年)	3月6日	幕末維新水戸有志を偲ぶ会、福善寺・脱走塚訪問
2007年(平成19年)	8月	市村眞一先生「市川勢の軌跡」発刊記念写真展開催(八日市場図書館) 写真展をきっかけに、依知川、椎名、加瀬氏ら、「水戸藩士の史跡を顕彰する会」の活動を開始
2008年(平成20年)	10月6日	水戸藩国事殉難者140年忌慰霊法要、水戸殉難者恩光碑保存会主催
2009年(平成21年)	11月	林千之様、水戸藩士の史跡を顕彰する会、斬られ様の場所を特定し「水戸浪士の墓」を建立
2009年(平成21年)	11月	幕末維新水戸有志を偲ぶ会・匝瑳市訪問
2016年(平成28年)	5月21日	水戸藩国事殉難者148年忌慰霊法要、水戸殉難者恩光碑保存会主催
2018年(平成30年)	9月27日	水戸藩国事殉難者150年忌慰霊法要、水戸藩士殉難150周年記念事業主催、高橋水戸市長参拝
2023年(令和5年)	10月6日	水戸藩国事殉難者155年忌慰霊法要、水戸殉難者恩光碑保存会主催

匝瑳市の皆様は、松山戦争（諸生・天狗最後の戦い）直後から、戦没者を手厚く供養して来てくださいました。感謝しかありません。

4. 市村先生講話：車中での講話（要旨）を紹介します。

①眞木家の歴史（マイク眞木さん、初代水戸大使 のファミリーヒストリー）

└─作衛門─景猶─景信─景忠─景近

（水府系纂より）

└─廣─家─忠─明─能─致─要─景嗣─鉄之助 ~小太郎─マイク眞木

眞木家は越前朝倉の一族。織田信長に滅ぼされ浪人となる。景猶の時、初め紀州藩頼宣公につかえ、次に水戸藩頼房公の希望で水戸藩に移り3000石を賜り家老となった。景近に世継ぎがなく絶家となるが、弟家が眞木家を継ぎ、景嗣の時100石を賜り普請奉行、郡奉行を歴任。

しかし天狗党の乱（元治元年1864年）が災いとなる。宍戸藩主に同行して水戸に向かったが意図せず幕府軍と対峙してしまう。幕府に齒向かうつもりはないため、那珂湊で降伏したが古賀藩預かりとなり、切腹を命じられてしまった。

景嗣には鉄之助という子供がおり、その子孫がマイク眞木さん。

また眞木家の屋敷は今京成百貨店の駐車場になっている場所にあったが、駐車場を建設した平成2年、百貨店は屋敷跡にあった眞木神社を、駐車場の角地に移設。毎年初売りの日に神主を招いて祈祷を行っているとのこと。



現在の眞木神社

②塚原萬治郎の話

塚原萬治郎は、匝瑳市では松山戦争を生き延びた諸生党の藩士とされており、戦闘で傷ついたが地元の人にかくまわれ、水戸から妻子を呼んで64年の生涯を終えたと伝えられていた。

ところが市村先生が調べたところ、塚原萬治郎は市川勢にはおらず天狗党と判明。天狗党の乱に加わり敦賀で降伏したが、24歳と若かったため武田金次郎らとともに死罪を免れ、市川勢の追討に加わったとわかった。

それではなぜ、諸生党と偽ったかということだが、天狗党は千葉でさんざん悪さをしたため、地元の人たちから嫌われていた。そのため生き延びるには、諸生党と偽るしかなかったのではないかと、ということでした。

5. 水戸藩国事殉難者慰霊法要

水戸藩士の墓（脱走塚）にて、松山戦争155回忌となる、慰霊法要を実施しました。

- | | | |
|---------|-----------------------|--------|
| 1) 読経 | 西光寺住職 | 菱木 智仁 |
| 2) 追悼の辞 | 水戸殉難者恩光碑保存会会長 | 大森 信明 |
| 3) 式辞 | 水戸市長 | 高橋 靖 |
| | (代行副市長 | 秋葉 宗志) |
| | 匠瑳市長 | 宮内 康幸 |
| 4) 焼香 | 水戸殉難者恩光碑保存会会長 | 大森 信明 |
| | 水戸市副市長 | 秋葉 宗志 |
| | 匠瑳市長 | 宮内 康幸 |
| | 匠瑳市市議会議長 | 山崎 等 |
| | 匠瑳市教育委員会教育長 | 二村 好美 |
| | 幕末維新水戸有志を偲ぶ会会長 | 栗原 邦俊 |
| | 茨城県近現代史研究会会長 | 市村 眞一 |
| | 龍性院総代 | 関 春男 |
| | 水戸藩士の史跡を顕彰する会代表 | 依知川雅一 |
| | 恩光碑保存会、偲ぶ会関係者 | |
| | 中台地区、水戸藩士の史跡を顕彰する会関係者 | |
| | 水戸市、匠瑳市職員 | |

「追悼の辞」

本日ここに、幕末の争乱終結から155年目の水戸藩国事殉難者慰霊法要を行うにあたり、ご来賓の皆様ご臨席のもと、参列者の皆様と共に、当地戦没者の皆様に謹んで哀悼の意を表します。

水戸藩諸生党の藩士の皆様が、故郷を離れ、志半ばにして戦没されたことは、痛恨の極みであります。諸生党藩士の皆様は、国を思い、藩を思い、国事のために奔走されました。不幸にして、明治維新後に賊の扱いをされ、長い間正当な扱いをされませんでした。その志は、勝者の側と比べ何の引け目もありません。

私たち水戸殉難者恩光碑保存会は、諸生党の皆様が正當に評価されるよう、歴史を学び、後世に伝える活動を行ってきました。道半ばではありますが、徐々に見直されてきております。平成21年には、水戸市市議会にて、水戸市教育委員会が平等に扱うと答弁しました。本日は、水戸市副市長秋葉様、水戸市教育委員会の皆様が戦没者の顕彰に訪れています。私共はこれからも水戸の歴史を偏見なく後世に伝える活動を行って参ります。

また、地元匠瑳市の皆様は、松山戦争直後から、戦没者を厚く供養して来てくださいました。明治2年には戦死二十五人の墓、明治21年に21回忌法要、大正15年に水戸藩志士弔魂碑建立、昭和35年八日市場市文化財指定、昭和41年百年祭挙行。平成21年には「水戸藩士の史跡を顕彰する会」の皆様が、きられ様の場所を特定し、水戸浪士の墓を建立していただきました。

本日は、匠瑳市市長宮内様を始めとする多くの地元の皆様が参列してくださっています。私共は、匠瑳市の皆様に厚く御礼を申し上げると共に、末永く交流を行い、共に水戸藩士の顕彰を行って参ります。

令和5年10月6日 水戸殉難者恩光碑保存会 会長 大森信明



菱木住職 大森会長 追悼の辞



水戸市 秋葉副市長 式辞



匝瑳市 宮内市長 式辞



匝瑳市市議会 山崎議長



匝瑳市教育委員会 二村教育長



幕末維新水戸有志を偲ぶ会
栗原会長



茨城県近現代史研究会
市村会長



龍性院 関総代



水戸藩士の史跡を顕彰する会
依知川代表

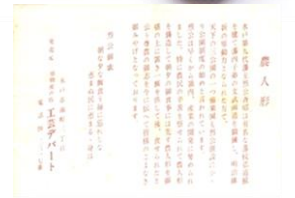


中台地区及び関係者の皆様

6. 交流会

慰霊法要の後、匝瑳市生涯学習センターに移動し、昼食を兼ねた交流会を行いました。約50名が参加。恩光碑保存会会長大森が挨拶の後、水戸市副市長秋葉様、匝瑳市市長宮内様、同市議会議員山崎様、幕末維新水戸有志を偲ぶ会会長栗原様、茨城県近現代史研究会会長市村様、水戸藩士の史跡を顕彰する会会長依知川様からご挨拶をいただきました。

その後、戦没者の供養に貢献してくださった4団体、「龍性院様」、「中台区民様」、「水戸藩士の史跡を顕彰する会様」、「円長寺様」に感謝状を贈り感謝の気持ちを伝えると共に、記念品として、裂公ゆかりの「農人形」を贈りました。



農人形



交流会の様子



大森会長



秋葉副市長



宮内市長



山崎議長



栗原会長



市村会長



依知川会長



感謝状贈呈 龍性院様



同左 中台区民様



同左 水戸藩士の史跡を顕彰する会様



同左 円長寺様

7. 水戸浪士の墓参拝

交流会の後、生涯学習センター近くの「水戸浪士の墓」に移動。円長寺ご住職、柴田敦様に読経していただき、参拝しました。



8. 飯高寺見学

今回の研修旅行の最後に、飯高寺を見学しました。

飯高寺は元「飯高檀林」という日蓮宗の学問所で、天正8年(1580年)から明治7年までの約300年の間に、数多くの僧侶を輩出しました。立正大学の前身でもあります。

「総門」「講堂」「鼓楼」「鐘楼」の4棟が国の重要文化財に指定されており、広大な敷地の中、樹齢約300年の杉の林の中に立っていました。

徳川光圀公も元禄11年(1698年)に訪れており、記念の桜が黄門桜として残っているそうです。

駐車場から境内までの長い坂が大変でしたが、皆さん無事にたどり着き、歴史に思いを馳せる時間を過ごしました。



長い坂と階段を上る



「飯高檀林」を説明する銘板



国重要文化財「鐘楼」



紅白の彼岸花
が満開

9. 最後に

5年振りに匝瑳市を訪問し、松山戦争155年忌の慰霊法要を行い、匝瑳市の関係者の皆様と交流しました。今回の訪問で、改めて匝瑳市の皆様が諸生党の戦没者を手厚く供養してくださっていることを認識し、このことを水戸の人たちにも伝えていかなければならないと、気持ちを新たにした旅行でした。

Ⅱ. 2024年行事について

1. 総会： 水戸・祇園寺にて、3月24日(日)13～15時。改めてご案内します。
2. 会報： 例年通り、年2回の発行を予定します。
3. 御前山、栃木方面への研修旅行： 6月中旬の土曜日を予定
初めて栃木・大田原方面の研修旅行を計画します。
大田原は、市川勢が会津から水戸に向う途中戦闘があった場所で、地元の人たちにより2箇所慰霊碑が建っております。また市川勢が通過する4年前には、天狗党も通過しており、大田原藩は水戸に2回翻弄されました。
大田原に向う途中の、御前山長倉の蒼泉寺には結城寅寿の墓があり、参拝したいと思います。
4. 祇園寺慰霊法要
10月13日(日)11～14時。祇園寺・恩光無辺の碑の前にて行う予定です。

★編集後記

晴天に恵まれた匝瑳市の旅にご参加くださった皆様、お疲れ様でした。
155年前に災難を被ったにもかかわらず「水戸藩士の墓」「水戸浪士の墓」としてご供養下さり、史跡としてお守りくださっている匝瑳市の皆様、市長様はじめ地域の皆様方に深く感謝申し上げます。

また、水戸市・水戸市教育委員会の皆様には、今回も多くのご助力とご助言をいただいています。秋葉副市長様、ご担当の皆様、誠にありがとうございました。

市村先生には、講話をいただくたびに毎回、新しく貴重な歴史の見方・考え方を学ばせていただいております。

このように貴重な経験や知識は、ぜひ将来にわたって伝えていかなければなりません。

本会の活動につきまして、会員の皆様のご協力をお願いいたします。
(樹)

知恩第33号
発行日
発行所
発行人
作 成

2023年(令和5年)11月19日
水戸殉難者恩光碑保存会
大森信明
事務局 編集委員会